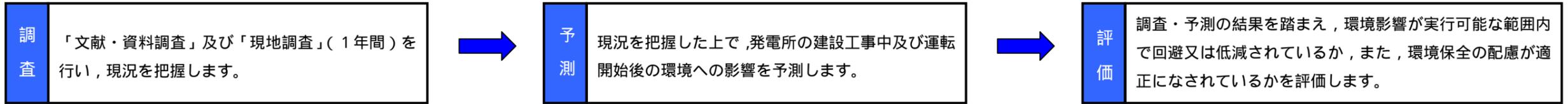


# 川内原子力発電所3号機増設計画の環境影響評価における調査、予測及び評価の概要について

参考2

## 環境影響評価の流れ



**調査**  
「文献・資料調査」及び「現地調査」(1年間)を行い、現況を把握します。

**予測**  
現況を把握した上で、発電所の建設工事中及び運転開始後の環境への影響を予測します。

**評価**  
調査・予測の結果を踏まえ、環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているか、また、環境保全の配慮が適正になされているかを評価します。

## 現地調査及び予測・評価の概要(主要な例)

### 大気環境

#### 【現地調査】

影響要因	調査項目	調査地点	調査期間
資材等の搬出入	窒素酸化物濃度	主要な道路沿い(7地点)	季節ごとに1回
	交通量 騒音・振動	主要な道路沿い(7地点)	代表する1日
建設機械の稼働 施設の稼働	窒素酸化物濃度	発電所構内(1地点) 発電所近傍(1地点)	1年間連続
	騒音・振動	敷地境界(6地点) 周辺民家の近傍(6地点)	代表する1日

1地点は県測定局のデータを使用

#### 【予測・評価】

- ・工事車両の交通量や建設機械の稼働状況等を考慮して環境影響を予測し、環境基準等への適合について評価します。

大気環境(騒音・振動)調査例



### 陸生生物

陸生生物(動物)調査例



#### 【現地調査】

影響要因	調査項目	調査地点	調査期間
地形改変 (敷地造成等)	動物 (哺乳類・鳥類 爬虫類・両生類 昆虫類)	対象事業実施区域 及び周辺5km程度	原則として、季節ごとに1回 (調査時期は動物の種類に応じて設定)
	植物	対象事業実施区域 及び周辺1km程度	春季・夏季・秋季に1回

#### 【予測・評価】

- ・陸生生物の生息・生育環境の変化の程度を予測し、生物への影響について評価します。

現地調査範囲



### その他

#### 地形(陸域地形・海岸地形)

敷地造成や埋立てによる影響について調査・予測・評価します。

#### 景観

発電所の設置に伴う周辺の景観への影響について調査・予測・評価します。

#### 産業廃棄物・残土

産業廃棄物・残土の発生による影響について予測・評価します。

### 水環境・海生生物

#### 【現地調査】

影響要因	調査項目	調査地点	調査期間
施設の稼働 (温排水)	水温・塩分	発電所の周辺海域 (沿岸方向約20km 沖合方向約6km内)	季節ごとに1回
	流向・流速		
	残留塩素		
	海生生物		

水温調査地点のうち1地点は1年間連続測定

#### 【予測・評価】

- ・温排水の拡散範囲を予測し、海生生物への影響等について評価します。

海生生物(潮間帯生物)調査例



発電所の景観(既設1,2号機)

